



株式会社FeelWorks 代表取締役

まえかわ

たかお

前川 孝雄さん

1966年、兵庫県生まれ。大阪府立大学、早稲田大学ビジネススクール卒業。株式会社リクルートにて、「リクナビ」、「ケイコとマナブ」などの編集長を経て、2008年に株式会社FeelWorks設立。2017年、株式会社働きがい創造研究所設立。「上司力研修」、「eラーニング・パワハラ予防講座」などで400社超を支援。青山学院大学兼任講師・iu客員教授も務める。著書は、「働きがいあふれる」チームのつくり方(ベストセラーズ)、『本物の「上司力」』(大和出版)など34冊。新書は『人を活かす経営の新常識』(FeelWorks)。

【写真】安岡 嘉

## 編集長から人材育成のプロとして起業 「上司力」で日本を元気にしたい

【取材・文】原 正紀

株式会社クオリティ・オブ・ライフ代表取締役、株式会社スマートバリュー（東証一部上場）社外取締役、キャリアコンサルタント協議会常務理事・事務局長、高知大学客員教授・経営協議会委員、名城大学非常勤講師、中小企業診断士。早稲田大学卒業後、株式会社リクルートを経て起業し、人材ソーシャルビジネスを展開。著書「定年後の仕事は40代で決めなさい」(徳間書店)、「インタビューの教科書」(同友館)など多数。

HARA'S  
BEFORE

人材育成の専門家集団FeelWorksグループを創業した前川さんは、「日本の上司を元気にする」をビジョンに掲げ、人を育て活かす「上司力」を提唱している。「リクナビ」、「就職ジャーナル」などの編集長を歴任後に起業、多くの著書とともに、講演やメディアなどで発信し続けているインフルエンサー型経営者だ。

時代を捉える切り口や表現方法、話題づくり、事業づくりのコツなどは、多くのビジネスパーソンの参考になるだろう。



Umano! — Takao Maekawa

### 人を育てられる上司を増やしたい

原：「人を大切に育て活かす社会づくりへの貢献」を志に、起業したと伺いました。

前川：2000年代に「リクナビ」の編集長をしていた時、将来に明るい展望を持つ若者が減っていることが気になっていました。当時は学生の就職までのお手伝いでしたが、就職はゴールではなく、スタートです。人を育てることに思い入れが強かったので、独立起業に踏み切りました。最初は新入社員研修から管理職研修、人事制度設計や新規事業開発のコンサルティングなど幅

広く行っていました。今は人材育成やダイバーシティへの対応、パワハラ予防などを集約した「上司力」などにフォーカスしているところです。中でも、主力のサービスは「上司力研修シリーズ」というプログラムです。人を育てたい思いで、十数年かけて作って磨いて進化させてきました。組織の中で人を育てるのが上司であり、その力を高めることで、広く人材育成につながると考えたからです。

原：「上司力」とは、独自のキーワード、切り口ですね。

前川：上司力を高める土台になるのが、コミュニケーションエンジニアリングです。現場でのコミュニケーションをどう改善・改革していくかが重要だと思っています。「違いを認める」、「価値観を知る」、「あり方を定める」、「やり方を変える」、その4つのプロセスをきっちり回すことがコミュニケーションだと、創業間もない頃に定義しました。この理論に基づき、コミュニケーションを変えていくのが上司力研修シリーズで、現在、400社以上に提供しています。

最初はフリーランスの外部講師の方などに内容を伝えて事業展開していましたが、なかなかうまく行きませんでした。そこでゼロから講師を育てるプログラムも開発しました。大手企業の管理職や幹部の方で、第2のキャリアとして講師になりたい方々にプログラムを受けていただき、OJTで講師を育てています。大手企業を中心に400社に導入したとはいえ、一部上場企